

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス わかたびじょん			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		～	2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2026年 2月 14日		～	2026年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ビジョントレーニングを毎日実施しており、子どもたちの目と体の協調性を養っている。	最初に体を大きく動かす粗大運動を行い、その後パズルやブロック、眼球運動等の微細運動を行っている。 理学療法士のスタッフ監修のもと、子どもたちのレベルに合わせた様々なメニューを提供している。	4月からも継続して、理学療法士側の意見と支援スタッフ側の意見を取り入れ、こども達が楽しめる新しいメニューを提供していく。また状況に応じて、メニューの追加、修正をしていく。
2	学びの要素を取り入れるお出かけをしている。	祝日や土曜日、長期休みにはでんきの科学館や夢と学びの科学体験体験館等の学べる場所へ出かけたり、期間限定のイベントに積極的に参加している。 体を動かしたい子どもが多い時には大高緑地等の広い場所へ行き、のびのびと遊ぶことのできる場で過ごしている。	今後もお出かけできる場所を増やしていく予定。
3	年に1回、トレーニングの様子や評価を利用者様に配信している。	子どもたちの頑張っている様子や一年間のトレーニングの成果を、分かりやすく伝えている。	今後も継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースの関係で個室などを作ることが出来ない。	規準はクリアしているものの、一人一人に落ち着いた環境を提供する事が難しい。	事業所隣にあるトレーニングに用いるスペースを利用する。広い空間のため、クールダウンをしたり、気分転換に軽い運動をすることもできる。
2	PCやスマホ、タブレットといった電子機器を置いていない。	他事業所で置かれている事の多い電子機器を置いておらず、絵本や漫画、創作活動、ボードゲーム等をして過ごしている。	他事業所ではタブレットがあるのに、と利用者の中で不満が出たこともあった。しかし、電子機器を置いていない分利用者同士の関わりの機会が増え、一緒に遊ぶことでコミュニケーション能力が培われていると感じている為、現状導入は考えていない。
3	地域住民との交流の機会が少ない。	利用者や保護者のプライバシーを考慮し、地域住民との交流は行っていない。	現在児童館を利用することで地域の子どもたちと関わる機会を設けているので、他にも利用者に負担にならない程度で地域住民と関わることのできる施策を検討していく。